

施策評価シート

評価実施年度：平成29年度

事務事業所管部局長 (幹事部局)	地域振興部長 穂葉 寛佳	電話番号 0852-22-5080
---------------------	--------------	-------------------

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅱ-5-2 小さな拠点づくり
目的	中山間地域に今後も安心して住み続けることができるよう、県・市町村・県民の力を結集して「小さな拠点づくり」を進めます。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
「小さな拠点づくり」を進めている公民館エリア数（累）	目標値	59.0	77.0	102.0	126.0	150.0	エリア	機能・サービスの集約化に向けた実践活動を開始する公民館エリア数（累計）	目標値	0.0	13.0	26.0	38.0	50.0	エリア
	取組目標値								取組目標値						
	実績値	59.0	93.0						実績値	0.0	12.0				
	達成率	100.0	120.8	-	-				達成率	-	92.4	-	-		
地域資源を活かした特産品開発に積極的に取り組む事業者	目標値	3.0	6.0	9.0	12.0	15.0	事業者		目標値						
	取組目標値			19.0	24.0	29.0			取組目標値						
	実績値	9.0	14.0						実績値						
	達成率	300.0	233.4						達成率	-	-	-	-		
定性目標	平成28年度～平成31年度														
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	<ul style="list-style-type: none"> ○「小さな拠点づくり」を進めている公民館エリア数について 小さな拠点づくりを進めるための「計画」を策定した地域、又は計画に基づく実践活動を行っている地域。 ○機能・サービスの集約化に向けた実践活動を開始する公民館エリア数について ・「住み続ける中山間地域生活サポート事業」を活用したエリアのうち、「生活機能の確保」に取り組んでいる地域。 ○地域資源を活用した特産品開発に積極的に取り組む事業者数について ・コミュニティビジネス育成支援事業を活用した事業者のうち新商品が開発、又は開発に向けた道筋がついた事業者。 ※取組目標値設定理由：29年度には当初目標がほぼ達成見込みであることから目標値の上方修正を行った。 														

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の公民館エリア（236）のうち203の公民館エリアを訪問し、「小さな拠点づくり」に係る説明等を実施した。 ・住民の意識醸成が進んだ地域は、「現場支援地区」（18地区）に指定し、具体的な計画づくりや実践活動を中山間地域対策プロジェクトチームや中山間地域研究センターの研究者、中間支援組織等が支援を行った。 ・その他、県事業の実施状況については以下のとおり。 買い物支援や高齢者の見守り等の生活機能の確保に取り組む地域、あるいは、活動拠点となる施設の整備を行う地域への支援を行った。（12エリア） 商品開発等に精通した講師による個別相談会等を通し、地域のスモールビジネス等に関心をもち、取り組んでいる事業者への支援を行った。（18事業者が事業を活用、うち、5事業者で新商品が開発、又は開発に向けた道筋がついた）
---	--

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価 A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる（見直す点がある） C:あまり順調に進んでいない	判断	その理由
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・203の公民館エリアに対して「小さな拠点づくり」に係る説明などを行っており、未訪問エリアについても今年度中に対応可能な見込みである。 ・こうした取組みにより、目標を上回る93の公民館エリアで「小さな拠点づくり」が進んでいる。 ・今後、計画が策定された地域は実践活動に繋げ、既に活動に取り組んでいる地域についてはそれが継続、拡充されるよう支援していく必要がある。 ・地域資源を活用した特産品開発に取り組む事業者については、特産品開発に積極手に取り組む事業者数が目標を上回っており、概ね順調に進んでいる。

⑤課題の認識

(1) 平成31年度末の施策目的の達成状況（予測） A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由（④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
(2) 施策の目的達成に向けての課題	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や高齢化などの課題に対して関心が低い地域も多いことから、地域を訪問することで繰り返し丁寧な説明を行い、話し合いや計画づくりの支援を行う必要があることに加えて、地域づくりの中心的な役割を担う人材を発掘・育成していく必要がある。 ・計画づくりや活動が進んだ市町村から、地域住民が様々な活動をする際の拠点が必要という意見が出されており、そうした要望に答えていく必要がある。 ・特産品開発や販路開拓等のスキルやノウハウの不足に悩む事業者は多く、そういった事業者に対して県の支援策を周知していく必要がある。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「小さな拠点づくり」については、「現場支援地区」の取組みを中山間地域全域に広め、継続させていくために県のみではなく市町村と連携して取り組む。 市町村職員が地域の取組みを支援していく上で必要な、スキルやノウハウなどを学ぶ研修制度の拡充を検討する。 地域においてもリーダーや住民だけでは取組みが進まない面もあることから、将来、地域づくりの中心的な存在となり得る地域おこし協力隊の定着支援や中間支援組織の活動を支援する。 教育魅力化事業（教育委員会）との連携により、地域の次の世代を担う人材の育成を図る。 ・機能・サービスの集約化に向けた実践活動を開始する公民館エリアについては、実践活動の充実に伴い、必要性が増す拠点施設の整備（新築含む）に係る支援の拡充を検討する。 ・地域資源を活用した特産品開発については、これまでの「島根もの・ことカレッジ」の受講者に対するフォローアップの実施や全県の事業者が参加しやすくなるように開催地を増やすなど、支援の拡充を検討する。
---------------------	---

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅱ-5-2 小さな拠点づくり			
-------	------------------	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	中山間地域総合対策推進事業 (「小さな拠点づくり」推進事業)	中山間地域が抱える様々な課題に対して対策を講じ、住民のみなさんが安心して 住み続けることができるようにする。	111,916	226,786	しまね暮らし 推進課
2	中山間地域対策総合調整事業	中山間地域対策関連事業の円滑な実施	5,663	6,014	しまね暮らし 推進課
3	中山間地域研究センター事業	中山間地域における現状の把握と解決策を研究し、中山間地域の活性化の取り組 みに役立ててもらおう。	39,149	51,539	しまね暮らし 推進課
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					